

# 学校改革！教員の時間創造プロジェクト

ニューズレター 2019年度第1号

## ◆令和元年度プロジェクト会議報告

昨年度に引き続き、教育委員会事務局と学校現場が一体となって、教員の長時間勤務の実態改善に取り組むために、教員の時間創造プロジェクトを設置し、定期的に会議を開催しています。

プロジェクトメンバーは、橋爪・岩瀬両教育次長をリーダーとして教育委員会事務局内の各課の所属長、学校現場から校長・教頭・教諭・養護教諭・学校事務の代表の方です。

会議では、時間創造プログラムの進捗状況の報告や確認、課題の共有、新たな取組に対する協議など、それぞれの立場から率直な意見交換を行っています。



| R1プロジェクトメンバー   |               |               |
|----------------|---------------|---------------|
| 教育委員会事務局       | 橋爪 教育次長       | 岩瀬 教育次長       |
|                | 津田 教育総務部長     | 塩津 学校教育部長     |
| 関係課長           | 福島 教育政策課長     | 石加 教育政策課教育審議員 |
|                | 濱洲 学校改革推進室長   | 岩崎 教職員課長      |
|                | 古家 学務課長       | 水町 青少年教育課長    |
|                | 川上 総合支援課長     | 松島 指導課長       |
|                | 中村 健康教育課長     | 平生 人権教育指導室長   |
|                | 大江 教育センター所長   |               |
| 小中学校長代表        | 福田 錢塘小学校長     | 桃崎 京陵中学校長     |
| 小中学校教頭代表       | 楢原 向山小学校教頭    | 水田 長嶺中学校教頭    |
| 小中学校主幹教諭又は教諭代表 | 才所 東町小学校教諭    | 松田 東町中学校教諭    |
| 養護教諭代表         | 平山 出水南中学校養護教諭 |               |
| 学校事務職員会代表      | 富永 城西小学校事務主任  | 松本 力合西小学校事務主任 |
|                | 山本 江原中学校事務主任  |               |

## ◆現場の声で変わりました！

| 項目                         | 現場の先生からの声                                                              | 第2回会議での回答                                                                                                                              |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校への文書について<br>(教育政策課)      | ①文書の数が多い。<br>②検索が困難。件名だけでは重要度が判断できない。<br>③周知期間が短い。<br>④よい取組事例を教えてください。 | ①グループウェアにて発送した文書の件数を調査中です。<br>②タイトル等のルールを見直し、教育委員会事務局内で共有しました。(7/8)<br>③プロジェクト会議に参加の各所属長が認識しました。<br>④「文書取り扱いのペーパレス化(例)」をキャビネットに保存しました。 |
| 宿泊学習・修学旅行の勤務<br>時間管理(教職員課) | 「宿泊ホテル・旅館への到着時刻を教員の勤務時間終了とするということはおかしいのでは？」                            | ・勤務時間を消灯時間まで延長し、併せて勤務割り振りの回復期間を現在の1週間以内から4週間以内の範囲に改め、通知を発送しました。(8/19)                                                                  |

## ◆時間創造プログラム！

### 🔍 本年度の取組み

- ・再任用短時間教員の試行配置(6人)(教職員課) ・部活動指導員配置(モデル校5校)(健康教育課)
- ・学校閉庁日(教育政策課) ・外国語専科教員等の増員(指導課) ・多様な場所で働ける環境の試行(教育情報室)

### ※プログラム以外の取組み

- ・AIを活用した採点システムの試行(指導課) ・予備時数の削減(指導課) ・学校行事の精選に着手(指導課)

### 🔍 次年度に向けて

- ・給食費の公会計化(健康教育課) ・学校徴収金のシステム管理(教育政策課) ・文化部活動外部指導員制度の導入(試行)



## ◆トピックス

### 『学校業務改善モデル校は 武蔵中学校と麻生田小学校に決定！』



今年度も、文部科学省の学校業務改善アドバイザー派遣事業を活用したモデル校の取組が始まっています。

モデル校となった、武蔵中学校と麻生田小学校では、それぞれに2回の研修会を実施しました。

第1回目では、齋藤敦子アドバイザーの講義を聴き、課題や改善策などを話し合いました。

第2回目では、アドバイザーの助言を受けながら、実際の職場環境改善に取り組まれています。

令和2年2月12日(水)には、取組み事例の発表会を開催予定です。それぞれの学校がどのように働きやすい職場へ変わって行くか楽しみです。

### 『教育委員会会議』でも議論しました！

令和元年8月22日(木)、教育長、教育委員から構成する教育委員会会議の場で、「学校における働き方改革の現状について」というテーマの自由討議が行われました。

学校現場を代表して、昨年度の業務改善モデル校・長嶺中学校の水田教頭先生にもご参加いただき、現場の状況をお話いただきました。

委員からは、「学校の先生はやるのが本当に多い。やるべきことの取捨選択が必要。」「先生も含めて、学校内の大人の数は、もっと増えていい。」「家庭へのプリントもシステムで送るようにすれば。」などという意見が出されました。

働き方改革の最終目標は、教育の質を高めることであり、改革を進めるべきという思いは参加者全員が共有するものでした。



### 『楠中学校 PTA から取材を受けました！』

熊本市立楠中学校 PTA では会報「楠風」を発行されています。

今年度の特集は「働き方改革について」ということで、先日、広報委員会から教育委員会へ取材に来られました。

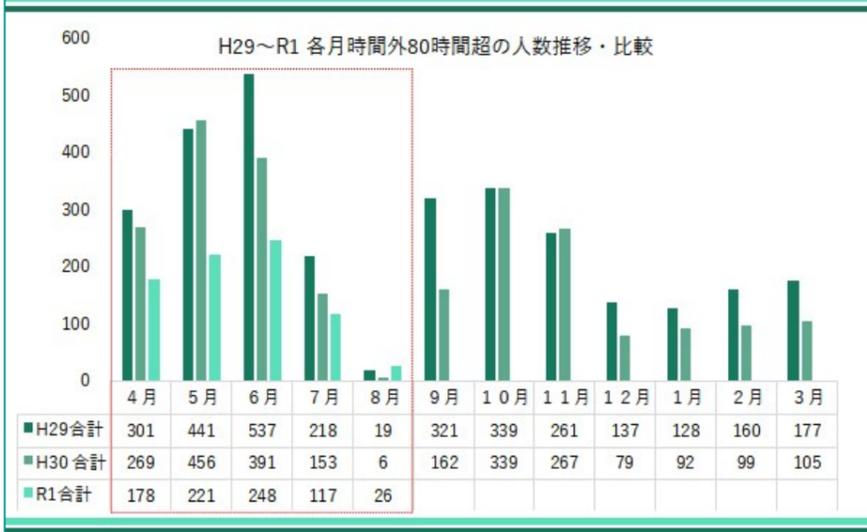
「働き方改革がなぜ必要なのか」「PTA にやってほしいこと」など、1時間程度意見交換を行い、最後には「楠中学校では PTA が率先して、働き方改革を推進していこうと思っています。」という力強い言葉をいただきました。



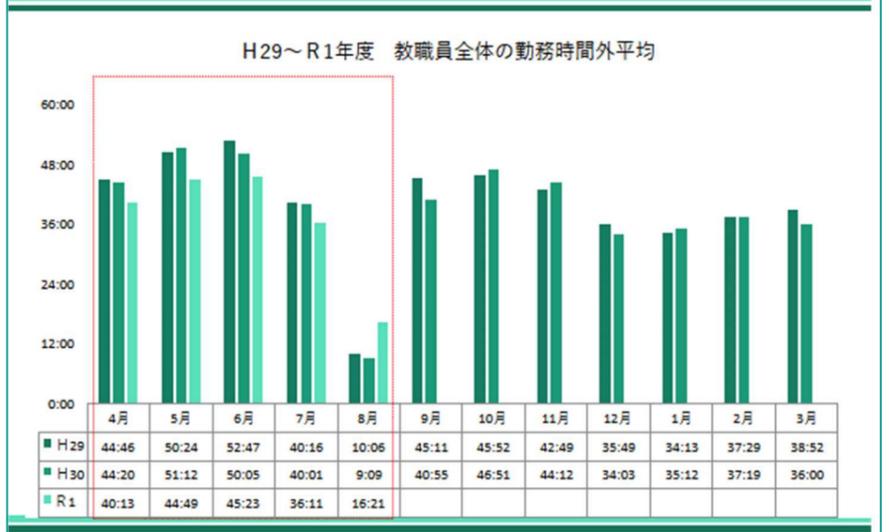
# 働き方改革の進捗状況 ～成果が見えてきました～



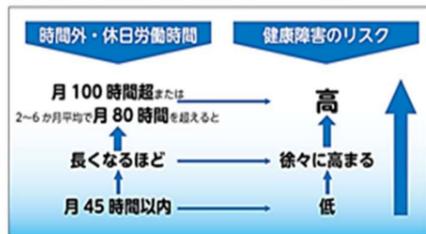
目標1 正規の勤務時間外の在校時間が1か月80時間を超える教職員数 **0人**



目標2 教職員の正規の勤務時間がいの在校時間 対 29年度実績比で **25%減**



## ■時間外・休日労働時間と健康障害リスクの関係



長時間にわたる過重な労働は、疲労の蓄積をもたらす最も重要な要因と考えられ、さらには脳・心臓疾患との関連性が強いという医学的知見が得られています。

脳・心臓疾患に係る労災認定基準においては、週40時間を超える時間外・休日労働がおおむね月45時間を超えて長くなるほど、業務と発症との関連性が徐々に強まり、発症前1か月におおむね100時間又は発症前2か月間ないし6か月間にわたって1か月当たりおおむね80時間を超える時間外・休日労働が認められる場合は、業務と発症との関連性が強いと評価できるとされています。

※厚生労働省 過労死等防止啓発パンフレット

上の表はプログラムの目標達成状況をグラフで表したものです。

今年度は、始業式が8月26日であったためか、8月の長時間勤務が増えています。2年前の同時期（4月～8月）と比べると、時間外勤務が月80時間を超える教員は45.4%減、時間外勤務の平均は7.7%減となっています。目標達成には至っていませんが、各学校・教育委員会の取組の成果が着実に始まっています。

一方で、個人別に見てみると、毎月のように長時間勤務（一部は100時間を超える）をされている先生がおられます。

ある先生にお話を聞いたところ、「長くこれが普通と思ってやっていたので長時間勤務の意識はありませんでした。命に関わるような働き方だったのですね。」とおっしゃいました。

子どもたちのためにも、先生方に心身ともに健康でいていただきたい。先生の勤務状況は大丈夫ですか。

## 時間創造に効果があった取組 龍田小学校

目標1の状況 H29:13人(35人中) ⇒ H30:2人(37人中)

目標2の状況 H29:49時間39分 ⇒ H30:38時間39分(削減率:△22.2%)

### ■授業開始時間と下校時間を早める取組み

- ・朝自習の廃止（授業開始8:50⇒8:35）
- ・朝会の削減（週3回⇒1回）
- ・昼休みの短縮（30分⇒25分）

※業間の時間は20分間確保し、学年の情報交換や、管理職への報・連・相ができるようにしている。

### ■予備時数の削減（20時間前後）

※1年生は予備時数を減らさず丁寧な指導を行い、2年生と下校時刻をそろえることで、防犯上のリスクを減らす。

☞上記2つの取組みで生み出された時間を活用した、OJTの充実と授業研究会の実施。

### ■学年主任の負担軽減

- ・委員会活動、部活動から外し、学年経営に専念してもらう。
- ・委員会の時間を活用し、運営委員会（学年主任が参加）を開催する。

### ■不登校支援コーディネーターの設置（主幹教諭）

### ■部活動の削減 総合運動部（9人の先生が交代で指導）、金管バンド部（4人で指導）



※取組をご紹介いただける学校を募集しています！

## 「現場の声」を聴かせてください！

学校が働きやすい職場となるように、先生方の声を聴きながらとともに取組んでいきたいと考えています。働き方に関するご意見やアイデア、ニュースレターのご感想などがありましたらお寄せください。

■提出方法 校務支援システム>メッセージ機能にて【教育政策課03】へメールにて送信してください